

日時: 2025年1月20日(月) 午後1時30分～2時45分

場所: おいでやすコスモス103

出席者				内容
利用者家族	1名	地域住民・代表者	4名	1.現況報告(資料①)
包括支援センター	2名	合計	8名	2.前回会議以降の活動と今後の予定(資料②)
高齢介護課	1名	欠席者	1名	3.事業所サービス評価について(資料③、④)
介護事業に知見を有する者	1名	職員(所長・理事長)	4名	4.その他 意見交換
事務局長・事務局員)				
1.現況報告 資料①に沿って、所長が説明				
・登録者18名 登録率62%				
2.前回以降の活動と今後の予定				
資料②に沿って、所長が説明				
・避難訓練(事業所内) 2月14日→3月に変更予定				
・虐待防止の研修 2月15日→3月に変更予定				
・八幡支援学校「職場実習」受け入れ 2月18日～20日(高等部1年生2人)				
3.事業所サービス評価について(運営推進委員さんの評価)				
資料③について				
・B-4「日中鍵はかかっていませんか?」の問いに対して、わからない2名→鍵はかけていません				
・F-3「事業所の防災訓練に参加したことがあるか?」の問いに対して、いいえ5名→この問はそれほど重要性を感じない。それぞれの地域で参加されたら良い気がする				
・以前、コスモス男山主導で地域連携訓練を行ったが、時間の限られる中ではまずは事業所の訓練を徹底することが大切だと感じた				
資料④ 総括(案)の項目A～Fについて				
・項目C、D、Eについて近隣の居住者には、ほとんど知られていない。PR活動をした方がいい				
・男山団地の範囲以外では、コスモス男山の認知度が低い				
・コスモス男山は福祉避難所に指定されているが(ハザードマップの福祉避難所に載っている)、発災時に状況によって市から依頼がくる。コスモスに余裕があれば、お引き受けするという流れだ				
・BCP研修(防災)で、減災対策は個人間の格差があることが判明				
・虐待対応について、職員全員がよく取り組んでいると評価した。これはコスモス男山の根幹になっている。今度は外部講師ではなく職員みんなで日々の点検を中心に3月に実施する				
4.その他 意見交換				
・世間ではインフル・コロナが流行だが、コスモスで休まれる方は無い。(手洗い・換気対策等、細心の注意を払っている)				
・2月6日(木)イベントを開催。手もみセラピストによる講習と介護についての話、食事交流。				
・地域の福祉状況(災害支援希望者)1,100名 避難支援者を見つけるのが大変				
まずは自分の命、自分の家族、それから地域への目を向ける事になるだろう				
・一人暮らしの方が支援依頼に来たが、高齢者が高齢者を助ける形は仕方ないのか				
・年末年始、男山病院の患者数が多く、薬が不足しそうであった。手洗い・うがいで予防しましょう				
・感染対策をしていたが、最近是一般の方でマスクをしない方が多い				
・コスモスは、変わらず手洗い・うがい・マスク・消毒を徹底しています				
・地域との繋がりが大事。災害時に自分の事を第1に考えなければいけない。隣近所の付き合いが大事				
・地域交流について、八幡高校南キャンパス(総合福祉科)で、生徒さんと俳句の授業交流をしている。				
交流した5人の内、2人がコスモス男山に職場実習に来る。高齢者と若者の交流があればいいなと思う				
若い人たちと、地域のネットワークが出来ればいいなと思う				
・「オレンジカフェ」で自らガン患者である事を発言された方がおられる。言える関係が良い。				
皆で励ましあいながらの場になっている				
・「きらっと☆シニア」も、体操したりゲームしたりと、みんなで元気をもらいあう場になっている				
※次回2024年度第6回運営推進会議の予定 3月17日月曜日 13:30～15:00				